

# 環境教育「まず、今までのことから」

歴史に学ぶ



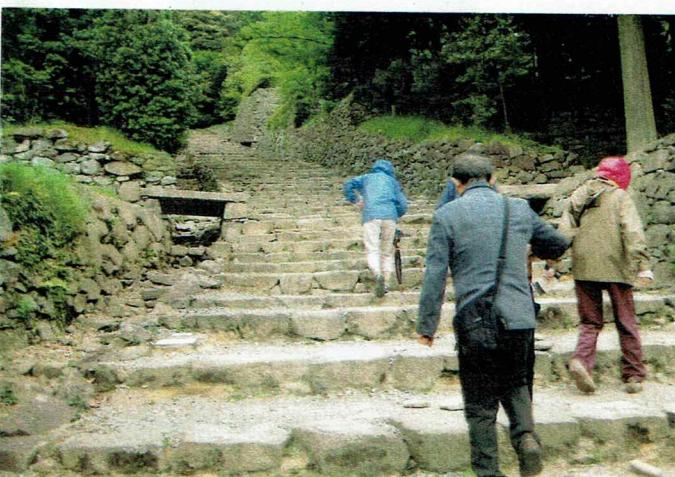
▲遠くに琵琶湖が見えました。

天正4年(1576)天下統一事業の象徴に掲えた城郭建築の手本

歩みを加速して、いた織田信長は琵琶湖の東岸に面した標高約199mの安土山に城を築き始めた。安土を運んで理由は琵琶湖の舟運を利用できることや、上洛の拠点にするためと考えられる。この城の最大の特徴は、天主を掲げたことである。信長は天主を天下人の権威の象徴と位置付け、内外に金箔や黒漆をほどこしに用いた。絢爛豪華な意匠を施した。



▲土塁



長禄合戦の四年前に武田信玄が命じて重臣馬場信春が吉良城を築いた。この工事がされた信玄は吉良方面への勝頼は吉良方面への進出はもちろん家康の息子信康が守った西三河の最重要城郭岡崎城への直接攻撃の足かとも確保した。

信康が感じた。信玄は想像以上で

